

平成30年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	96	学校名	茨城県立伊奈高等学校				課程	全日制		学校長名	川村 始子					
教頭名	島崎 誠								事務（室）長名	宇佐美福美						
教職員数	教諭	40	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	3	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	3	技術職員等	6	計	59
生徒数	小学校	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	136	105	136	99	149	88			421	292	18				

2 目指す学校像

豊かな人間性を育み、自主自立の精神を養うとともに、確かな知力・たくましい体力と精神力を備えた社会に貢献できる人材の育成を目指す。

- 生徒一人一人の可能性を伸ばし、自己実現・進路希望の実現を図る学校
- 規範意識と道徳的実践力を高め、豊かな感性と人間性を備えた人材を育てる学校
- 自主自立の精神を養い、様々な“学び”に主体的に向かう態度を育てる学校
- 地域社会との連携により一市民としての意識を醸成し、社会に寄与する人材を育てる学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	週末課題やポートフォリオ導入等で改善は見られるが、自学自習・家庭学習の習慣づけが不十分な生徒が見受けられる。	生徒の学習時間の管理の充実とともに、教員個々の授業改善に関する施策を積極的に推し進める。
進路指導	進路目標の設定が遅く、大学進学のために必要な学習量や情報量が足りない生徒が見受けられる。	希望進路意識高揚のための施策をどのように効果的に行うか。
生徒指導	ほとんどの生徒がよく挨拶をするが、規範意識や制服の着用についてまだ指導が必要である。また、交通事故防止や不審者への対応も継続した指導が必要である。	全職員が共通認識をもち、基本的な生活、心の教育をどのように充実させるか。また交通ルールの遵守や情報の共有化を図るとともに、安全教育の充実を推し進める。

4 中期的目標

- (1) 学力を向上させ、一人一人の進路希望を実現させる。
- (2) 特別活動、部活動等への参加を奨励し、達成感を感じさせるとともに、たくましい心と体を育てる。
- (3) 規則正しい生活習慣を確立させ、自律した態度を養う。
- (4) 「自立」と「創造」の精神を高揚させ、「チャレンジする伊奈高生」を育成する。
- (5) 学校・家庭・地域社会の三者が一体となって生徒の成長を支援する魅力ある学校づくりを目指す。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
学力の向上	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「サポートティーチャー制度」「手帳」を有効に活用し、生徒の学力および学習意欲の向上、家庭学習習慣の定着を図る。 (2) 授業公開、生徒による授業アンケート等の活用により授業改善に積極的に取り組み、生徒の学力向上と進路希望実現のために最大限の努力をする。 (3) 教員研修を積極的に推奨し、教員の授業力向上と、次期学習指導要領や大学入試改革に対応するための伊奈高スタイルの構築を目指す。 (4) シラバスの有効活用により授業内容の充実と計画的指導を実践し、生徒の自学自習の習慣付けを促す。 (5) 言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力及びコミュニケーション能力を育成する。 (6) 学校行事の精選や見直しを行い、授業時間の確保に努める。
進路希望の実現	<ol style="list-style-type: none"> (7) 教育活動全般を通してキャリア教育の充実を図り、生徒の主体的な進路選択を体系的に支援する。 (8) 3年間を見通した指導計画を構築し、早期から進路意識の高揚を図る。 (9) 年間6回以上の生徒面談の実施と日常的な面談を通して、個に応じた指導をきめ細かく行う。 (10) 進路情報の共有化を促進しつつ、進路指導部と各学年の連携を強化し、指導体制を充実させる。
特別活動・部活動の活性化と自主的精神の涵養	<ol style="list-style-type: none"> (11) 学校行事や部活動・委員会活動等を活性化し、生徒の能力を生かした活力ある学校づくりを推進する。 (12) 特別活動や部活動を通して自主的精神を養い、行動力を培うとともに、より良い人間関係の形成を図る。 (13) 社会貢献活動等の体験活動の充実を図り、社会的視野を携えた豊かな心を育成する。
規範意識の高揚と健康・安全指導の推進	<ol style="list-style-type: none"> (14) 基本的生活習慣の確立とともに、規範意識の高揚を図り、自律性を育てる。 (15) 「道徳」及び「道徳プラス」の授業をはじめ、教育活動全体を通して心の教育を重視する。 (16) 薬物防止教育・性教育・情報モラル教育などを行い、生徒指導体制の充実及び保健厚生部との連携により健康と安全に関する意識を高める。 (17) 生命の尊さを自覚させ、交通事故の防止に万全を期す。 (18) 施設・設備の整備・点検に努め、学校事故の未然防止を図り、安全・安心な教育環境を提供する。
保護者・地域社会との連携による開かれた学校づくりの推進	<ol style="list-style-type: none"> (19) 「伊奈高だより」やホームページを充実させ、保護者や地域社会に学校の最新の情報を積極的に発信し、開かれた学校づくりを推進する。 (20) 生徒・保護者等による学校評価の充実、学校関係者評価の継続実施により、現状と課題を適確に把握し、学校運営の改善・発展に努める。 (21) 家庭、中学校、各種団体、諸機関との連携を密にし、保護者や地域社会の期待に応え信頼される学校づくりに努める。